

本を選ぶ

NO.471 2024年(令和6年)8月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<http://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>ピーツピ・ヂヂヂ 続

●司書の眼 (第56回)



●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

ピーツピ・ヂヂヂ 続

今年も庭にどこからともなくアゲハが足繁く飛来した。お目当てはもちろんレモンの木。同じ個体かは不明だが、一日に数回は見掛ける。そんな折、朝日歌壇(7月14日)で見掛けた「アゲハの子やっばり来たねレモンの木ごめんねここはお家じゃないの」の一句。対して選者の永田和宏は「蝶の母親は前脚で葉を叩いて味見をし、幼虫が食べられる植物にだけ卵を産む」と科学者らしく説いてやんわりなだめるように添える。こちらもそうかそんなドラマがあったのか、と頬が緩む。動物の中でもろつきやくるい六脚類と分類される昆虫たちも、賢く生き延びようとする。

モーツァルトが、もの真似上手で知られるムクドリ(ホシムクドリ)をペットとしていた事実は史料でも確認されている。ピアノ協奏曲第17番第3楽章の主題をこのムクドリがさえずったという真偽不明の話すらある。この「いたずら好きで、利口で、やんちゃ」なムクドリとモーツァルト自身がどんな関係だったのかを知る(理解する)ために、アメリカのネイチャーライターにして野鳥観察家ライアンダは、違法ではないとしてもきわどいやり方でムクドリの雛を捕獲して自宅に持ち帰る。『モーツァルトのムクドリ-天才を支えた

さえずり』ライアンダ・リン・ハウプト 著/宇丹貴代実 訳/青土社/2018年)。ちなみに日本の法律では、鳥獣を捕獲したり飼う行為は禁止されている。

ライアンダは連れ帰ったムクドリの雛をカーメンと名付け、自宅の一部を改装して飼育(共同生活?)を始める。ムクドリはアメリカでは害鳥として最も嫌われている鳥なのに、その幼鳥を飼うなんて、と周囲が眉をひそめても一向に気にせず、カーメンとの絆を徐々に深めていく。ムクドリの驚くべき能力を目の当たりにするその過程を緻密に記述するあたりは、野鳥の専門家として、また次第に愛情を育み、あるいは敬愛を込めて世話をする同居人としての日誌のようでもある。途中でその細かな描写の連続にはこちらがいささか飽きてしまったくらいだ。

野鳥のシジュウカラが仲間に対して発する「ピーツピ・ヂヂヂ」が「警戒して・集まれ!」を意味する“シジュウカラ語”であると解明し、この鳥の地鳴きに文法があることを発見した動物言語学者の鈴木さんの研究過程も、些細に展開されている。『動物たちは何をしゃべっているのか?』(山極寿一・鈴木俊貴 著/集英社/2023年)。シジュウカラはコガラ語も話せるという。「ピーツピ・ヂヂヂ」の「ヂヂヂ」をコガラ語の「ディーディー」に置き換えると、意味は同じになるそう(68頁)。

「モーツァルトのムクドリ」のさえずりは模倣であって地鳴きではないのだろうが、そのメカニズムを鈴木さんには是非とも解明してほしい。(埜村 太郎)

司書の眼 第56回

—— 結局は虚心坦懐 ——

鷹野 祐子

虚心坦懐で仕事を

猛暑の初め、組織長からのメッセージは、「虚心坦懐で仕事をしましょう」という内容だった。なにやら孔子とか孟子が弟子に言っているようなこの言葉は、実は2つの熟語からなっているそうだ。「虚心」の「虚」は空っぽ、無心を意味し、「心」は心情や精神を指す。つまり、先入観や偏見を持たず、素直な心でいることを示すそうだ。「坦懐」の「坦」は平らであること、「懐」は心の内を指し、心が広く、穏やかであることを表している。この二つの言葉を合わせることで、偏見や先入観を持たず、穏やかで受け入れる心を持ちなさいよ、というメッセージになっている。感情や意見に流されず冷静に物事を判断することができる状態で、他者の意見や状況を受け入れる姿勢を持つことは、新しい知識や経験を素直に受け入れ、自己の向上を目指すバランスと調和を重視する思想ともいえるだろう。「虚心坦懐」という言葉は、心を偽らず素直であり、他人に対して偏見や傲慢さを持たずに接することを指す。

SNS 詐欺の手口は多様

近年 SNS 詐欺が急増しており、多くの人々が実際に被害に遭っているそうだ。警察庁によると、全国の2024年1月～4月のSNS投資詐欺の認知件数は2508件、被害額は334億円。被害額は前年同期比で8.4倍に達した。SNS詐欺とは、インターネット上のソーシャルメディアで行われる詐欺行為のことを指す。代表的なものにはフィッシング詐欺、偽アカウント詐欺、投資詐欺、ロマンス詐欺等がある。フィッシング詐欺は、偽のログインページを作成し、ユーザーのアカウント情報を盗む手法で、例えば、FacebookやTwitterの公式サイトを装ったメールやメッセージが送られ、受信者がリンクをうっかりクリックすると、見た目は本物そっくりのページに誘導され、そこでログイン情報を入力すると、詐欺師にその情報

が送信される。そしてその情報が売買されて新たな被害が発生する流れになっている。また、有名人や友人の偽アカウントでフォロワーに対して金銭を要求する手法（なりすまし広告）も多い。例えば、前澤友作氏や堀江貴文氏などの人気のYouTuberやインフルエンサーの名前を使って「プレゼント企画」を行い、参加条件として手数料を振り込むように求めるケース。また、SNSを通じて高利回りの投資話を持ちかける投資詐欺も多い。例えば、仮想通貨やFXの投資を勧める投稿では短期間で大きな利益が得られると宣伝される。まわりの桜にのせられる形で投資をしてしまい、詐欺師は最初の投資金を集めたら連絡を絶ち、被害者はお金が帰ってこなくなってから被害に気がつく。

ロマンス詐欺という恋愛が絡む詐欺もある。SNSで知り合った相手に恋愛感情を抱かせ、金銭を要求する手法で、ダイレクトメールをくれた外国人を名乗る相手が「ビザの手続きにお金が必要」「起業に必要」「あなたとは近い将来結婚しよう」と言って、被害者からお金を振り込ませるケースなどがある。この手法は、被害者の年齢にかかわらず恋愛感情を利用するため、非常に巧妙で被害額も心の痛手も大きい。このようにSNS詐欺の手口は多様だが、共通する特徴がある。まず、一般的に信頼性のある情報源を装って、警戒心を解く。親しくなってきたら、緊急性を強調し、「今すぐ行動しなければ損をする」といったメッセージで、冷静な判断を妨げる。そして恋愛や友情を利用し、感情的なつながりを持たせることで金銭を要求しやすくする。

InstagramやXをみても、たくさんのダイレクトメールが送られてくる。なぜこの人は私と友達になろうとするのか？と興味本位で返事をしてみても生煮えの回答がかえってきたり、返事がなかったり。不審なメッセージやリンクを受け取った場合、基本的に無視をするか、返信をする

場合でも必ずその人のプロフィールを確認し、再検索して公式サイトで情報を確認することが大事である。特に、ログイン情報を求められる場合は、URL から安易にログインするのではなく、新たに検索しなおした公式のログインページに直接アクセスする。検索結果のスポンサー広告もあるので、検索が一番とは言えないが、少なくともリンク先の URL ドメインを確認してみることが大事である。

心を偽らず素直であり、他人に対して偏見や傲慢さを持たずに接する「虚心坦懐」と SNS 詐欺の被害者には多くの共通点があることがわかるだろうか。両者ともお互いの信頼関係が重要であり、詐欺も被害者が詐欺師に信頼を寄せることで成り立つ。素直なコミュニケーションを通じて他者との関係を築くということは、コミュニケーションを駆使して被害者を騙す手法でもある。さらに、両者ともに人間の心理に訴えかけ、虚心坦懐な人は、他者の心を開かせるために心理的な配慮や理解を示す。詐欺も被害者の欲望や恐怖などを利用して心理や感情に訴えかけることで相手の心を動かし、関係を構築することで詐欺が成立するのだ。SNS 詐欺は多様な手口で行われており、被害に遭うリスクは常に存在する。その手口や特徴を理解し、適切な対策を講じることが重要で、情報を常に確認し、周囲と協力して詐欺に対抗することで、被害を未然に防ぐ必要がある。SNS を安全に利用するためには、「虚心坦懐」でありつつも、知識と警戒心が不可欠なのである。

自己決定権への問いかけ

最近 TikTok のオススメで映画のダイジェストがよく流れるようになってしまった。それにホイホイとつられて、古い映画や日本未公開作品を視聴することが増えた。最近観た「トゥルーマンショー」は、1988年に公開された映画で、日本でもある程度ヒットした映画ではないだろうか。平凡な保険会社のサラリーマン男性トゥルーマン・バーバーが、自分がリアルタイムで全世界に放送される巨大なリアリティ番組の主演であることに気づくまでの物語である（以下ネタバレもあ

るかもしれないので、観たい方は観てから先をお読みください）。トゥルーマンはシーズヘブンという架空の町で何気ない日常を送っているが、ある日ふとした出来事から周囲の人々の行動が不自然であることに気づき始める。彼の妻や友人、近所の住人たちはまるで見えない視聴者へ演技をしているようで、その違和感からトゥルーマン自身が虚構の中で生活していることに気づいていく。実は彼の人生は、出生から監視カメラで24時間逃さず記録され、番組「トゥルーマンショー」という巨大な企画の一部として全世界に30年間生中継されていたのである。監督のクリストフとスタッフ、エキストラたちは、トゥルーマンの人生や自然環境、人的要因をすべてコントロールし、視聴者受けするドラマチックな展開を24時間体制で演出していた。それに気が付いたトゥルーマンは驚きと怒りを覚えつつも、真実を求めシーズヘブンから脱出しようと決意する、という物語である。最終的に、トゥルーマンは番組の制作陣と対峙し、自分の運命を自らの手で切り開いていく。映画は、現実と虚構、自由と制約、真実と偽りといったテーマを巧みに描きながら、主人公の成長と冒険を通じて人間の尊厳や自己決定権を問いかけている。主役トゥルーマン役のジム・キャリーは映画「マスク」などのコメディ・アクション映画で知られる俳優で、楽天的に生きているトゥルーマンが徐々に真実を知っていく演技は、この人ならではの演技だと思う。トゥルーマンが目覚めていく状況は、現実の世界では「中二病」と呼ばれる思春期特有の自己顕示欲や妄想とも重なる部分があり、自分が特別な存在であると信じ、普通の生活に飽き足らず冒険や真実を求める姿が、中二病的な要素を表現しているようにもとれる。

一方で、トゥルーマンを監視し続ける監督のクリストフは、愛着障害とも連動した複雑な心理を持っている。クリストフは孤児であった胎児トゥルーマンを、出生の瞬間から理想的な人生をもつ男へと創造し、すべてを監視することで自分の支配欲やコントロール欲を満たし、トゥルーマンを愛着の対象として扱いつつも、その人生をコン

トロールすることで自分の内なるリアル世界への不安や人生はこうであってほしい、こうあれば人は幸せになれるのだという独りよがりな願望を実現しようとしていた。そして、トゥルーマンがその掌から出ようと試みようとしても、お釈迦様の手の上の悟空のように、トゥルーマンを懲らしめるのである。その姿は、まるで今日日の親の承認欲求を象徴しているようだ。安全な籠の中の鳥が自分の人生に真実と自由を求める姿は、人間の心理や欲望、現実と虚構の間で揺れる葛藤を通じて、四半世紀の昔から現代社会の病を予言していたのではないかとも思う。

リアリティ番組の登場

リアリティ番組は、1948年の「Candid Camera (どっきりカメラの元祖)」など、一般人の即興的で意外な反応を楽しむテレビ番組からはじまり、練られた脚本や俳優の演技よりも面白い一般人のリアクションに焦点を当てた番組は世界各地で製作された。1973年に放送された離婚寸前の核家族に密着した「An American Family」が愛憎や恋愛を題材にしたリアリティ番組の最初とされ、理想的な家庭が離婚へと向かう緊張感、ゲイであることを告白する長男、アメリカ人の家族に対する価値観が変わりゆくさまをとらえて大きな反響を起こした。これらの番組では、一般人出演者たちが限られた環境で生活し、様々な課題に直面する様子をリアルに放映する。視聴者は自身の日常生活から離れ他人の生活や行動を観察することで、のぞき見的な好奇心を刺激し、出演者への共感や自分も番組に参加をしている気分させる。さらに、視聴者と現実との直接的なつながりがあるかもしれないような一般人が登場することで、より身近な存在として親しみやすさを感じさせ、自らの生活の一部のように感じている。出演者たちは一般人にかかわらず一躍スターとして脚光を浴びることがあり、番組内や放映後に結婚したり、トラブルが原因で自死を選択したりする事件もおきた。番組内での人間関係や行動は視聴者との共感性が高いことから、社会的な影響をもたらすこともある。

日本でも1992年放送開始の『進め！電波少年』の出演者の人権や安全を完全に無視した、過激なアポなし企画が人気を得たこともあった。最近では韓国のリアリティ番組がオンライン動画配信サービスで人気がある。より身近で多様な人間ドラマ、意外性などが視聴者の心を揺さぶり、感情移入や共感を促す。番組に登場する人々が困難や挑戦に立ち向かい、成長や成功を遂げるのを見て勇気や希望を得ているかもしれない。一部のリアリティ番組では、事実と異なる演出や編集が行われ、あらかじめ設定されたシナリオセリフ、大げさな表現を強要し視聴者に誤った印象を与えるケースもある。そして視聴者は自らに痛手を得ることもなく、勝手に応援し、勇気や希望を得る。プライバシー侵害や人権侵害といった懸念も存在し、特に過激な環境下での撮影や演出が行われる番組では、出演者の精神的な負担や社会的影響が問題となっており、スポンサーとなる視聴者はリアリティ番組の出演者に共感して楽しむ一方で、自分自身が本当はその場にはいない安心感をも求めているのだろう。

メシア的な成長を描く

「宝石の国」は、「月刊アフタヌーン（講談社）」で連載されていた市川春子によるファンタジー漫画作品である。物語の舞台は、「古代」といわれるほどの過去に「にんげん」が存在したと伝えられる遠い未来の地球。地上の生物が微小生物に食われて無機物となり、長い年月を経て、宝石の体を持つ人型の生物が生まれた。それぞれ鉱石であり宝石の特性・特徴を持つキャラクターたちが、月から襲来して宝石たちを拐っていく月人（つきじん）との戦いながら、指導者である金剛先生と暮らしている。主人公である「フォスフォライト（フォス）」は、とても壊れやすい宝石であり、他の宝石たちと異なる存在として描かれている。心身がともに繊細でなおかつ自分の違和感を大切にしているフォスは、自らの価値や存在意義を模索しながら、様々な試練に立ち向かい成長していく。彼は他の宝石たちとの出会いや別れ、戦いや友情を通じて自己を見つめ直し、内面の強さ

与えられた環境から脱出することでメシア的な成長を遂げていく過程が描かれている。著者は1980年生まれで子どものころはコンピュータゲームやギャグマンガが好きだった。中高生で萩尾望都、「風の谷のナウシカ」「AKIRA」を読み、美大卒業後はデザイン会社に就職してエディトリアルデザイナーをしていた。あるとき「自分の考えを全部盛り込んだものを、企画・編集・レイアウトと何から何まで自分一人で、力一杯やってみよう」という思いで制作を開始する。26歳でデビュー後は短編をメインに発表していたが、2012年に初の長編『宝石の国』を連載開始、その後テレビアニメ化され2024年に完結した。1980年生まれといえばミレニアル世代だ。

Do the hokey pokey

ミレニアル世代は、1980年から1996年の間に生まれた世代であり、他の世代と比較して独自の特徴や生活スタイルを持っている。前後の団塊ジュニア世代、Z世代に挟まれ、就職氷河期世代・ゆとり世代ともクロスしている。彼らは生まれた時から携帯型ゲーム機「ゲーム＆ウオッチ」があり、デジタルテクノロジーの急速な発展と変化の中で、新しい時代の価値観や行動パターンを築いてきた。スマートフォンで情報に瞬時にアクセスし、オンラインでのコミュニケーションで共感し、また他

の世代と比べて社会的な問題への関心や行動力がある。安定性よりも自己実現や柔軟な働き方、新たなキャリアの機会を求める傾向が強く、自己成長や創造性を追求する姿勢が顕著である。あとに続くデジタルネイティブとも呼ばれるZ世代は、さらにタイムパフォーマンス重視の効率主義、仕事よりプライベート重視とまでは振りきれておらず、前世代との橋渡的な存在になっている。「宝石の国」の若者たちは、著者の出身高校である仏教的な思考の影響を受けていると思われる統治者である金剛先生に全面的に従い、それぞれを認め合いつつも、自己探求や他者とのつながりからその存在を疑い、個々のもつ特性に由来する様々な困難や試練に直面する。金剛先生や月人に象徴される自分たちの前の時代の愛着障害・不全的なしがらみを継承せず、自分の気持ちを隠さずに率直であり、他の人に対して先入観や高慢さを持たずに状況に接する。

「瓜食めば子ども思ほゆ栗食めばまして偲はゆいづくより来りしものそ眼交にもとなかかりて安眠しなさぬ」（山上憶良）。結局は虚心坦懐、自己を受け入れ周りと共に感じつつ成長する過程において、さらにそれら現状を俯瞰できる力を得た時に、人は次のステージに行けるのかもしれないと思う夏である。

（たかの ゆうこ：医学系研究所図書室）


DMがたろく

日本で初めてのゴスペルの教科書！


みんなでゴスペル！

学校で、サークルで、お家で

山本 愛 / 編著 ●A4判 / 80頁 / 定価：本体2400円＋税



記録媒体もない時代に人から人へ歌い継がれてきた古い時代のシンプルで力強い歌。その中から8曲を選び楽譜として収録しました。すぐに覚えてみんなで歌え、歴史も学べる入門書。子ども達と著者の長年のゴスペル体験から生まれた本です。



※お手本と伴奏のCD音源付き。

朔北社 〒191-0041 東京都日野市南平 5-28-11F
TEL042-506-5350 <http://www.sakuhokusha.co.jp>

哲学ってなんだろう？

DK社/編
山本貴光/訳

哲学の基本がわかる図鑑

10歳から大人まで楽しめる
哲学の入門書

古代ギリシア哲学から
21世紀の現代思想まで、
イラストでわかりやすく解説。




定価：2420円(税込)
978-4-487-81663-7

◀詳しい内容はこちらから

東京書籍

D. リスウィック／秋元由紀 訳

レイディ・ジャスティス

自由と平等のために闘うアメリカの女性
法律家たち 法+女性=変革! 3850円



A. コスタ／森島泰則 訳

バイリンガル・ブレイン

二言語使用からみる言語の科学 認知・
脳機能と言語を巡る探究の旅。 3520円



勁草書房 TEL 03-3814-6861 *価格税込
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>

伊藤元重[著]

●予価3300円(税込) ISBN 978-4-535-54107-8
●3色刷・菊判

マクロ経済学 第3版

12年ぶりに待望の改訂!

コロナ後のマクロ経済の変動を踏まえた
改訂で、データを一新。マクロ経済学の
理論を現実の経済問題にひきつけながら
解説する。 (9月中旬刊)



因果推論の計量経済学

川口康平・澤田真行[著]

経済学で使う因果推論の基
礎知識から実践できるまで
を丁寧にナビゲート。最新
動向や業界の暗黙知もふま
え、ベストな実践を解説!

(9月中旬刊) 理論、応用、実装を
1冊に凝縮!

●予価3520円(税込)
ISBN 978-4-535-54043-9



日本評論社 〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
☎03-3987-8621 <https://www.nippon.co.jp>

高校の日本史教科書シェアNo.1の出版社による、
これからの日本史を考える新シリーズ



完結!

現在 日本史の 全6巻

なぜ、教科書の内容は
変化していくのか——?

2024年5月刊 1 考古 2 古代
2024年6月刊 3 中世 4 近世
2024年7月刊 5 近現代① 6 近現代②

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-13-13
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469 <https://www.yamakawa.co.jp/>

ESTRELA

■2024年8月号
No.365/8月10日発行
B5判 64ページ
定価1,205円(税込)

[特集] 統計分類の進展

■産業分類改定および生産物分類策定の意義と現状/
宮川 幸三(立正大学経済学部 教授)

■変化する労働市場と職業分類統計の進展:可能性と課題/
小松 恭子(労働政策研究・研修機構 人材開発部門 研究員)

■今般の日本標準産業分類改定と生産物分類設定について/
目 篤(前 総務省政策統括官(統計制度担当)付統計審査官(統計基準・
産業連関表担当)付 副統計審査官)
藤井 英明(前 総務省政策統括官(統計制度担当)付統計審査官(統計
基準・産業連関表担当)付 主査)

公益財団法人 統計情報研究開発センター(Sinfonica)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階
TEL : 03-3234-7471 <https://www.sinfonica.or.jp/>

女性法律家 復刊版

三淵嘉子(元裁判官, 元弁護士) 執筆者代表

今から40年前の昭和の時代に、13人の法律家が
「自身の言葉」で語った、法曹の世界、そして自
らの仕事や後進へ託した熱い想い。いつの時代も、
人が真摯に取り組む姿は、美しく、カッコイイ。

そんな感動と共感が得られる
名著、ここに復刊。



四六判並製 276頁 2,530円



有斐閣 東京都千代田区神田神保町2-17
<https://www.yuhikaku.co.jp/> 価格は税込

発信する人のための メディア・リテラシー

情報の森で豊かに生きる

内田朋子 堤信子



変わりゆくメディア界で活躍する13名を講師に、京都芸術大学で
おこなわれた「情報学」の講義が一冊に。情報の虚実を見きわめ、
「心をうごかす」情報発信のためのヒントが満載。 1980円

晶文社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>